

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県で分離された腸管出血性大腸菌（EHEC）の薬剤耐性について
発表学会名	令和5年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部微生物部会
発表者名	坂井伸成（保健衛生部）
開催場所	名古屋市ルブラ王山
発表日時	令和6年3月8日 11:25～11:40
発表内容	<p>近年、薬剤耐性菌の検出が問題になっている。今回、平成29年から令和5年までの7年間のEHECの薬剤耐性状況を調査した。</p> <p>期間中に当センターに搬入されたか、もしくは当センターで分離したEHEC株について12種類の抗菌薬に対する薬剤感受性検査を行った。</p> <p>その結果、EHEC株全体の約80%がいずれか一つ以上の薬剤に耐性を獲得していた。血清型別の薬剤耐性率はO26が最も高く、薬剤別ではアンピシリン（ABPC）が最も高い耐性率であった。過去に当センターで実施した同様の調査と比較したところ、耐性率の上昇傾向が見られる抗菌薬もあるなど、今後も継続的な確認が必要である。</p>